
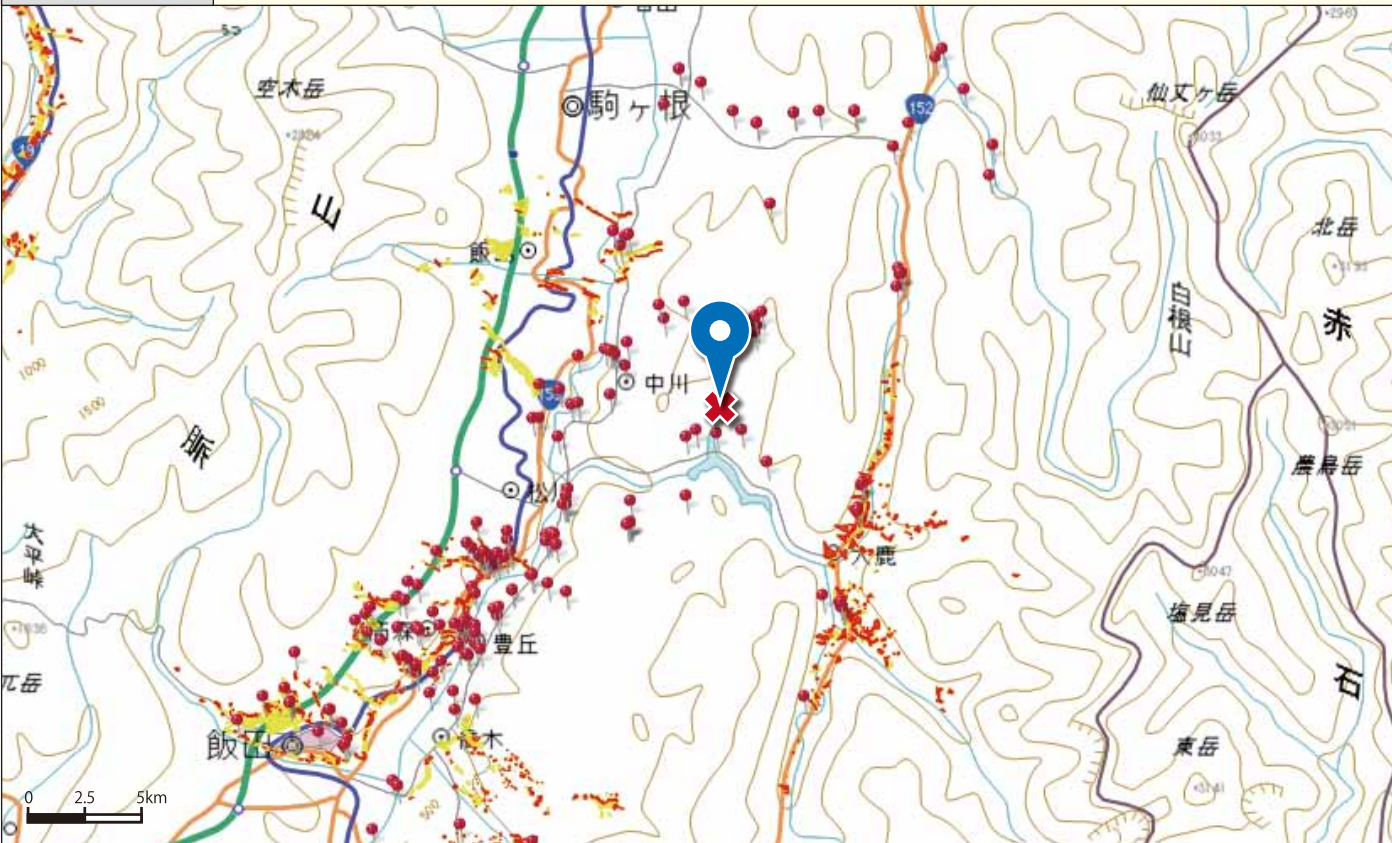
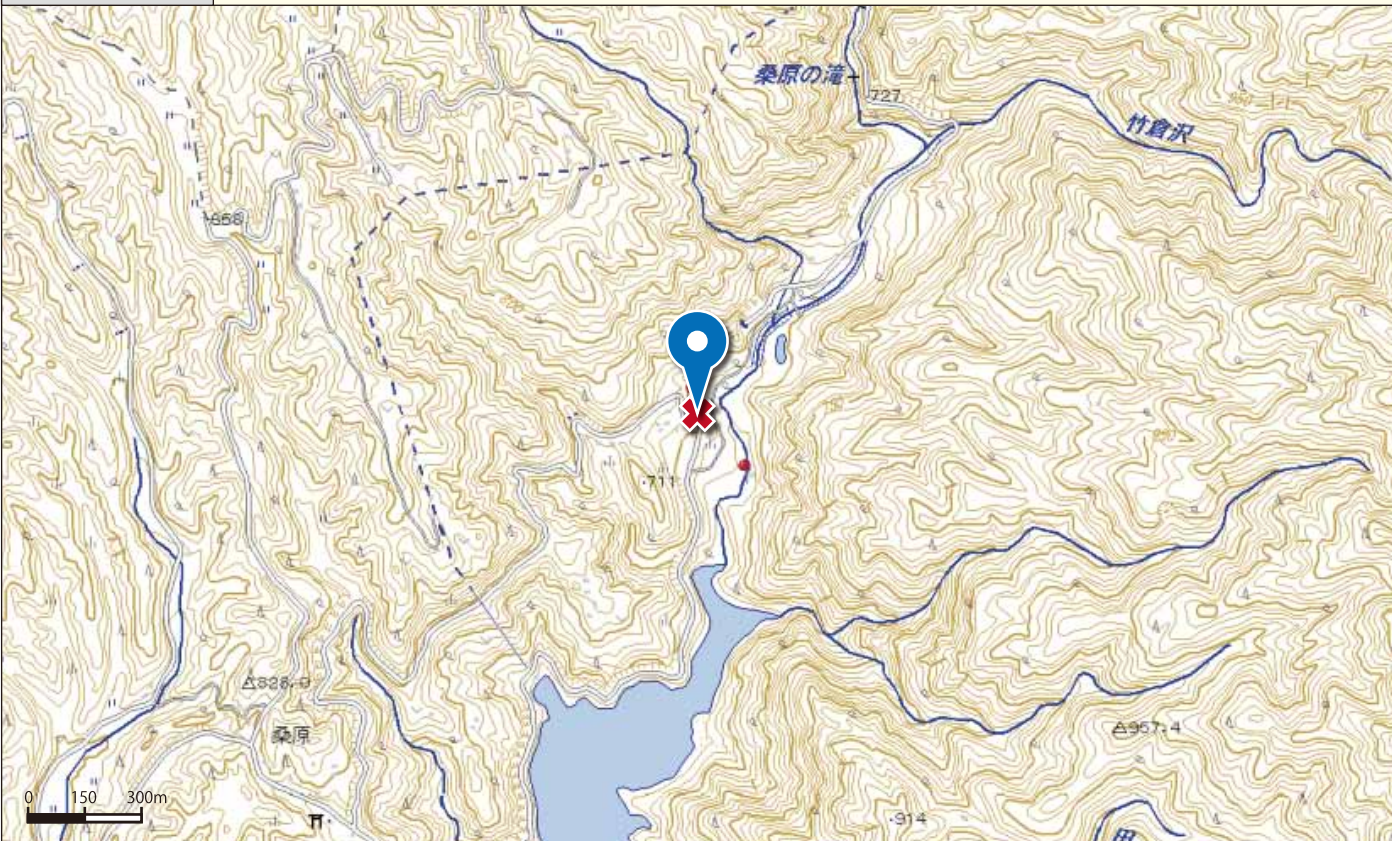


No.	12-2-6	場所	中川村桑原洞	次世代への継承キーワード
名称	屋根まで土砂に埋まった家	情報伝達網整備		
災害現象	土砂流出	河川	四徳川	
補足事項		支流		
概要	<p>中川村でも最も被害を受けたのが陣馬形山の東側の四徳川沿いで、四徳と桑原・滝沢は家屋・農地の被害が甚大で、後の復旧が見込めず集団移住を余儀なくされた。とくに四徳地区は全戸移住となり流域は、無住の谷となり、700年以上の歴史文化に終始符を打ったのだった。</p> <p>●体験談：災害当時 中川村中川西中学校2年生</p> <p>陣馬形の山を尾根づたいに三時間ついた。三時間というもの、それは相当苦しかったようだ。</p> <p>「おれが一番先にまいるかしれん。」</p> <p>と不吉な思もちでひっしはっしで登った。四徳へつくとみんなが、</p> <p>「おれが一番先にまいるかしれん。」と思って登ったそう。</p> <p>みんながそういう気持ちだったのだ。土や砂の間からは人間の顔やらうでが出ていたとか悲しい知らせばかりであった。四徳の人々は兄達の到着を大へん喜び、親切にしてくれたようだ。本当に嬉しかったであろう。兄達が四徳から帰り役場につくと村長を始め村の人、新聞記者が待ちかねていた。兄達が四徳に行ったのでやっと様子がわかった。消防団員は大役をやった。本当に偉かった。山を登る時は苦しきただろう。四徳の様子もわかり帰ってきた兄。話を聞けばたいへんな被害。あの土砂の下には何人ものたましいがうずまっている。同じ村の中でもこのような差がある。私はそれに比べ田畑も家も無事。ばちがあたりそう。</p> <p style="text-align: right;">（「濁流の子」より）</p>			
記録	 <p>屋根まで土砂に埋まってしまった家屋</p>			
出典	「中川村の災害誌」p.7/「濁流の子」p.48			
備考				

No.	12-2-6	場所	中川村桑原洞	緯度	35.624599
名称	屋根まで土砂に埋まった家			経度	137.989799
地図	広域図				
					
地図	詳細図				
					
備考	上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。				